

第661号

展示と催し物案内

東京国立博物館 ニュース

2003
9・10
月号

特別公開 長谷川等伯の松林図 ● 2

特別展 アレクサンドロス大王と東西文明の交流展 ● 3

特別展 煌きのダイヤモンド—ヨーロッパの宝飾400年— ● 4

特別展 国宝 大徳寺聚光院の襖絵 ● 5

江戸開府400年記念特別展 伊能忠敬と日本図 ● 5

教育普及事業のお知らせ 講演会・講座・ガイド ● 6

特集陳列 「東京国立博物館コレクションの保存と修理」 ● 8

平常展見どころ案内 2003年9・10月 ● 9

琳派の秋草／広重の江戸名所／江戸の雛形／国宝 元暦校本万葉集／
中国書画精華展 など

はくぶつかん散歩 有馬家の墓石 ● 11

誌上ギャラリー・トーク 平常展「日本美術の流れ」 ● 12

INFORMATION コンサート／賛助会／巡回展 ● 14

TOPICS／Who's Who in東博 ● 15

2003年 9月・10月の展示・催し物 ● 16

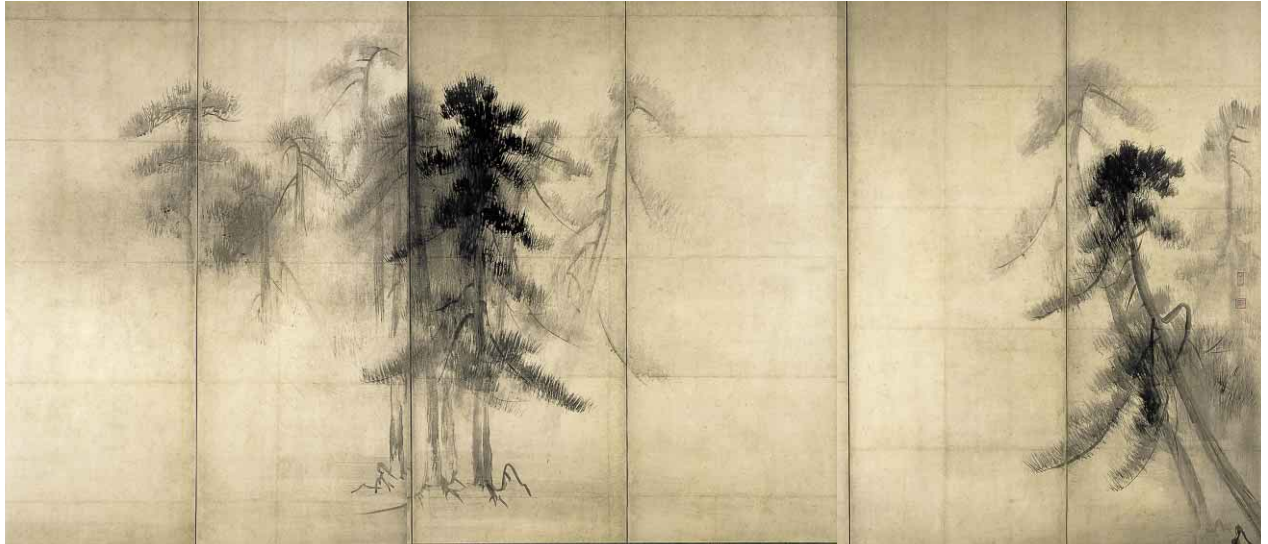


特別公開

長谷川等伯の松林図

9月23日(火・祝)～11月3日(月・祝) 本館第17室「桃山の風」

日本の自然美の象徴、長谷川等伯の松林図。東京国立博物館では3年ぶりの公開です。



●松林図屏風
長谷川等伯筆 6曲1双
桃山時代・16世紀
各156.8×356.0cm
東京国立博物館蔵
墨の濃淡による光と風の表現に注目

風がみえる。光を感じる。

筆の穂をいくつか重ねた連筆や竹の先を細かく碎いて筆にした竹筆を使って粗く大胆に描いた松林。この屏風は思わず後ずさりしてしまいそうな迫力をもっています。しかし薄暗い展示室のなかで数分間じっと見つめていると目が慣れてきて、ひっそりと松林が浮かびあがってきます。ほとんどの人が静かに見入ってしまい、松林のなかに自分が立っているかのような感覚になるのではないのでしょうか。あるいは、屏風の前に立つ人が松の一本となって絵の一部になっているかもしれません。

墨の濃淡が光の強弱をつくりだし、霽に包まれ、あらわれ消える松林の風情をみごとにあらわしています。幹の下方部分の背景をいくぶん明るく、上空の墨は濃くしているの、ようやく朝日が出た瞬間をあらわしているようです。霽の晴れ間にゆるやかな冷たい風のなかで木漏れ日のやわらかな光の粒子が降り注いでいます。林のむこうには、雪山がのぞき、流れる空気は晩秋の冷たく湿った朝を感じさせます。また、四つほどのグループに描き分けられた松林は、木々の間を風が通り抜けるように配置されています。よく目を凝らして画面をみると、料紙に漉き込まれた細い葉が、風に吹かれて舞う松葉のようにもみえます。

この松林は、観る人によっては、三保の松原にみえるかもしれませんが、あるいは天橋立の松林にみえるかもしれませんが、松の香りと海の香りが記憶のなかでよみがえり、懐かしさを感じさせ、観る人の故郷の松林に重なるのでしょうか。等伯は、能登半島の七尾に生まれました。現在も七尾周辺では屏風の景色にみた松林と思わせる風景が広がっています。

収蔵品のなかで展示希望のリクエストが、とりわけて多い当館のエース・長谷川等伯の「松林図屏風」が満を持して三年ぶりの登場となります。ぜひ多くの方々にさわやかな風と光を体感していただきたいと思っています。

(松嶋雅人)

関連講演会

10月4日(土) 13時30分から(開場13時予定)

平成館大講堂

「長谷川等伯の一生」

九州国立博物館(仮称) 設立準備室総主幹

宮島新一

*聴講無料(ただし入館料は必要)

定員380名 先着順

特別展

アレクサンドロス大王と 東西文明の交流展

ギリシャ美術から、ヘレニズム、ガンダーラ、そして日本へ。
世界史の英雄アレクサンドロス大王の大遠征を契機として
一筋につながった壮大な文明の路をたどります。



「アレクサンドロス大王と東西文明の交流展」は大きく四つの部分から成っています。

「第一部 アレクサンドロス大王以前の美術」では、古代オリエント美術を集成したアケメネス朝宮廷美術の様式の美と、地中海に生まれクラシック時代を迎えた躍動感溢れるギリシャ美術の好対照をご覧ください。

「第二部 アレクサンドロス大王の登場とその時代」では、アレクサンドロス大王その人にまず焦点を当てます。それぞれ印象の異なるさまざまなアレクサンドロス大王像があることに驚かされるかもしれません。またアフロディテ、ヘルメスをはじめとする神々の像は、私たちをギリシヤ神話の世界へ導くでしょう。



グリフィンのリュトン
アケメネス朝時代
紀元前6～前5世紀 大英博物館蔵
グリフィンは魔よけの怪獣

「第三部 東西文明の交流（ヘレニズムとイラニズム）」では、アレクサンドロス大王の死後に東方、特に西中央アジアで起こった、ギリシヤ文化とイラン系の文化の接触・交流がテーマです。それは特にガンダーラ仏教文化に色濃く見られます。イラン、インド系の神像に採用されたギリシヤの神像の特徴を探し出してみるのも興味深いことでしょう。

この新しい文化はヘレニズム文化と呼ばれます。「エビローグ日本への路」では、それが内陸のシルクロードを経て、中国、そして日本に到達したことを、選りすぐりの作品からご覧いただきます。ギリシヤのボレアスを源流とし、ガンダーラのウアドーを経て、風神の系譜は、近世日本の琳派が代々追求した風神雷神というテーマまで、連綿とその系譜をたどることができます。ユーラシア横断の壮大な文明の道に思いをいたす機会となるかもしれません。

（後藤 健）



牧神姿のアレクサンドロス大王像
紀元前4世紀末～前3世紀中頃
ギリシヤ・ペラ考古学博物館蔵
©Hellenic Ministry of Culture/
©Hellenic Culture Organization
S.A.-Cultural Olympiad
若々しく精悍なアレクサンドロス

うずくまるアフロディテ
ローマ時代模刻
原作：ヘレニズム時代・
紀元前100年頃
ルーヴル美術館蔵
©RMN-H.Lewandowski
ギリシヤ神話の1シーンを表す

アレクサンドロス大王と東西文明の交流展 8月5日(火)～10月5日(日) 東京国立博物館 平成館

一般1300(1100/950)円 高校・大学生900(800/500)円
小・中学生400(300/200)円

※()内は、前売り/20名以上の団体料金

※障害者とその介護者1名は無料です。障害者手帳などをご提示ください

主催 東京国立博物館 NHK NHKプロモーション 読売新聞社
共催 ギリシヤ文化機関-カルチュラル・オリンピック2001-2004
後援 外務省 文化庁 駐日ギリシヤ共和国大使館
特別協賛 キヤノン 大日本印刷
協賛 清水建設 三井住友海上
協力 日本航空 フィンランド航空
◆巡回展 10月18日(土)～12月21日(日) 兵庫県立美術館-「芸術の館」-

同時開催

「アレクサンドロス大王の大冒険」

こどもミュージアム

9月28日(日)まで 本館1階特別第5室

特別展に関連したこども向けのプログラムを行っています。地中海から中央アジアにまでおよぶ大帝国を築いたアレクサンドロス大王——その生い立ちや少年時代のできごと、遠征した国々でのエピソード、大帝国の出現によって生まれたヘレニズム文化についてなど、パネルや作品でわかりやすく解説します。

◆ワークショップ◆

博物館探検：

ギリシヤのもようを探そう

9月15日(月・祝)、23日(火・祝)

11時～(約1時間30分)

当日、こどもミュージアム会場に

お集まりください。

※お問い合わせは

当館教育普及室

TEL 03-3822-1111(代)まで



特別展

煌きのダイヤモンド —ヨーロッパの宝飾400年—

愛と美と権力の象徴、ダイヤモンド。
ヨーロッパの王侯貴族を煌かせ、親から子へと受け継がれた
名品約200件が、この秋、表慶館の優美な空間で輝きます。



シクラメンのティアラ
1903年頃 ウェストミンスター公爵夫人蔵
Photo: Bridgeman Art Library



スプレー・ブローチ 1870年頃 ドイツ・フォルツハイム 宝石博物館蔵
Photo: Günter Meyer, Pforzheim

眩い光をたたえ、人々を魅了してやまないダイヤモンド。このダイヤモンドがジュエリーとして登場するのは、十六世紀ころだといわれています。ダイヤモンドは富と権力、愛と美の象徴として、人々の歴史に輝きを添えてきました。この展覧会には、ダイヤモンド産業のメッカ、ベルギーのアントワープ州立ダイヤモンドミュージアムが所蔵する作品を核に、ヨーロッパ各地の博物館・美術館、個人コレクターなどが所蔵する約二百件の作品によって、十六世紀から二十世紀までのダイヤモンドジュエリーの歴史をたどります。

しかし、本展は単に第一級のダイヤモンドを並べるだけではありません。カットやセッティング技術の発達や、ジュエリーデザインの移り変わり、さらにダイヤモンド鉱床の発見といった歴史をたどりながら、それぞれの時代性を浮き彫りにしていきます。ロシア帝国の女帝エカテリーナ二世、ナポレオン三世皇妃のウジェーヌ、そして世界三大美女のひとりと謳われたオーストリア帝国皇妃のエリザベートなど、世界史の舞台を彩った女性たちの肖像画とジュエリーをあわせて展示します。各時代の生活様式とファッション、ジュエリーのスタイルや身につけ方がどのように変遷したのか読み取れるはずです。

ダイヤモンドの命は透明感のある輝きにあります。その輝きを生むカットは多くの人々によって洗練されてきました。十七世紀にはローズカットが、十九世紀には究極の光の造形、ブリリアンカットが生まれたのです。美しく、高貴に、そして神秘的に輝くダイヤモンドジュエリーの数々。とても買い求めることはできませんが、それを身に付けた自分を想像することは可能です。静かに作品の前に立ち止まり、煌きの世界に身を投じてみてはいかがでしょうか。

(井上洋一)

煌きのダイヤモンド —ヨーロッパの宝飾400年— 10月7日(火)~12月21日(日) 東京国立博物館 表慶館

一般 1200 (1000) 円 高校・大学生 800 (700) 円 小・中学生 400 (300) 円

* () 内は、前売りおよび20名以上の団体料金

* 障害者とその介護者1名は無料です。障害者手帳などをご提示ください

主催 東京国立博物館 TBS 朝日新聞社

後援 外務省 文化庁 ベルギー大使館 TBSラジオ

特別協力 アントワープ州立ダイヤモンドミュージアム

協力 日本航空 社団法人日本ジュエリー協会

企画協力 アプトインターナショナル

関連事業

■ 記念講演会

10月7日(火) 13時30分から(13時開場) 平成館大講堂

「ヨーロッパのダイヤモンドジュエリーの歴史」

アントワープ州立ダイヤモンドミュージアム館長 サビーヌ・デニッセン

定員380名 事前申込制

申込締切日: 9月16日(火) 必着

【申込方法】 官製往復はがきの「往信用裏面」にご希望の講演会・セミナーのタイトル・住所・名前・電話番号を、「返信用表面」には住所・名前を明記の上、お申込みください。応募多数の場合抽選となります

【申込先】 〒104-8158 中央区銀座7-2-22 同和ビル7F
共同PR (株)「ダイヤモンド展講演会」係

■ セミナー

10月30日(木) 13時30分から(13時開場) 資料館セミナー室

「モード史の中のアンティークジュエリー」

稲葉アンティークジュエリー美術館館長 稲葉昭江

* 女性の生活環境やファッションの移り変わりに伴ったジュエリーの変遷を、作品とジュエリーを身につけた女性の肖像画でたどります

定員60名 事前申込制

申込締切日: 10月14日(火) 必着

11月8日(土) 13時30分~(13時開場) 資料館セミナー室

「アンティークジュエリーに込められたメッセージ」

稲葉アンティークジュエリー美術館館長 稲葉昭江

* 19世紀の自然主義思想から生まれた「花ことば」とアンティークジュエリーの関係をさぐります

定員60名 事前申込制

申込締切日: 10月21日(火) 必着

特別展

国宝 大徳寺聚光院の襖絵

狩野松栄・永徳による国宝の襖絵四十六面全てを展示

永禄九年（一五六六）に創建された大徳寺の塔頭聚光院をかざる襖絵は、桃山時代を代表する画家狩野永徳（五四三〜九〇）とその父松栄（五一九〜九二）によって描かれた。室中の花鳥図と檀那の間の琴棋書画図は、永徳二十四歳の時の作とされ、力強く颯爽とした画風は、桃



●聚光院方丈障壁画 花鳥図 狩野永徳筆 桃山時代・16世紀 聚光院蔵
方丈の中心、室中の襖。若々しいエネルギーにあふれている

国宝 大徳寺聚光院の襖絵

10月31日(金)～12月14日(日) 東京国立博物館 平成館

一般1300円(1100円/950円) 高校・大学生800円(700円/500円) 小・中学生300円(200円/150円)

*()内は前売り/20名以上の団体料金です

*障害者とその介護者1名は無料です

障害者手帳などをご提示ください

*本展観覧券で同時開催の「伊能忠敬と日本図」もご覧いただけます

主催 東京国立博物館 大徳寺聚光院
NHK NHKプロモーション 日本経済新聞社
関連事業 本誌6ページをご覧ください

山時代の到来を告げるものとしてよく知られています。本展覧会では、通常非公開となっていた国宝指定の方丈障壁画四十六面全てを、建築状況にあわせた立体的構成で一挙公開いたします。

また、聚光院には千利休の墓碑があり、表千家・裏千家・武者小路千家の菩提所としてもよく知られています。障壁画の他に、聚光院の創建から利休へと続く聚光院ゆかりの作品もあわせて紹介いたします。

なお、本年聚光院伊東別院に寄贈された千住博筆の襖絵もあわせて展示いたします。

(田沢裕寛)

江戸開府四〇〇年記念特別展

伊能忠敬と日本図

新発見・初公開の伊能小図ほか、東京国立博物館所蔵の伊能図を一挙公開！

東京国立博物館には、江戸時代の測量家伊能忠敬が製作した実測図伊能図が多数所蔵されています。いずれも忠敬の測量技術の高い水準を示すとともに、絵画的な美しさもあわせ持っています。

この展覧会では、ふだん公開の機会が少ないこれらの図と、関連する資料を一堂に展示します。特に、日本列島を三枚の図に収める当館所蔵の「小図」は、江戸幕府の昌平坂学問所旧蔵品で三枚揃った図としては国内で初めて昨年確認されたものです。本展で初めて一般に公開されます。

初公開 日本沿海輿地図（伊能小図）
伊能忠敬作 江戸時代・19世紀
東京国立博物館蔵
小図は縮尺43万2000分の1で、3枚の図に日本全国を収める。図版は3枚を合成したものの



江戸開府400年記念特別展 伊能忠敬と日本図

10月31日(金)～12月14日(日) 東京国立博物館 平成館

一般420(210)円 大学生130(70)円(平常料金)

*()内は20名以上の団体料金

*障害者とその介護者1名は無料です。障害者手帳などをご提示ください

*高校生以下、満65歳以上の方は無料です。年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

主催 東京国立博物館
特別協力 国土地理院

また、鎌倉時代から江戸時代に至る日本図や世界図を多数出品し、日本人や外国人がとらえた日本の「私たち」のうつりかわりを紹介します。

この展覧会を通じて、伊能図の持つスケール感・精細さ・美しさ、国土の姿をとらえようとした先人たちの足跡を実感していただけるものと思います。

(田良島哲)

同時開催

こどもミュージアム 「測量っていいのう～!? 伊能忠敬の日本地図」

10月31日(金)～12月14日(日)

平成館ガイダンスルームあるいは本館特別第5室
協力 国土地理院

伊能忠敬とその時代の測量や測量器具についてわかりやすく解説します。さらにワークショップで測量を体験して自分だけの地図を作ってみましょう！

1 伊能忠敬ってどんな人？

伊能忠敬の足跡をパネル展示でたどります。伊能忠敬は、隠居後50歳を過ぎてから江戸に出て、自分より19歳も年下の幕府天文方高橋至時に入門、西洋天文学・西洋数学・暦学・天文観測術などを学びました。その後、55歳から全国各地を測量し、日本全国図を完成させました。その生活や、測量を志した時のエピソード、測量の成果などをわかりやすく解説します。

2 測量ってどんなこと？

伊能忠敬の時代の測量についてわかりやすく解説します。

伊能の測量道具(レプリカ)も展示。伊能忠敬がどんなふうに測量したのか、実際にさわって確かめてみましょう。(ただし会期中一部期間のみ)

◆ワークショップ◆

①測ってみよう・いろいろなもの
ロープや歩幅、自分の体を使って、昔の方法でいろいろなものを測ります。

②自分だけの地図作り
家から学校まで、駅のまわりなど、自分の好きなものや気になるものをいれて自分だけの地図を作ります。

③宝の地図作り
宝物のある場所を地図にします。
*会期中一時閉室することがあります。
*こどもミュージアムに関するお問い合わせは
当館教育普及室 TEL 03-3822-1111(代)

その他の関連事業

記念講演会・秋期講座・映画鑑賞会
本誌7ページをご覧ください

教育普及事業のお知らせ

平成15年10月～平成16年3月の月例講演会予定

9月21日(日)

古代の染織シリーズ⑥

「作品について」・褥じゅう

環境保存室長 澤田むつ代

9月27日(土)

初めての東京国立博物館シリーズ

「中国考古学入門」

列品課長 谷 豊信

10月4日(土)

「長谷川等伯の一生」

九州国立博物館(仮称)設立準備室総主幹

宮島新一

10月18日(土)

初めての東京国立博物館シリーズ

「中国絵画鑑賞入門」

文化財部長 湊 信幸

10月25日(土)

初めての東京国立博物館シリーズ

考古学入門⑧

「中世の考古学」

列品室主任研究員 時枝 務

11月8日(土)

初めての東京国立博物館シリーズ

「中国書跡鑑賞入門」

列品室主任研究員 富田 淳

11月16日(日)

古代の染織シリーズ⑦

「作品について」・袷あはせ・養よん・襦じゆ・袴はかま・襦じゆ・袴はかま・襦じゆ・袴はかま

さまざまな残欠類

環境保存室長 澤田むつ代

12月13日(土)

初めての東京国立博物館シリーズ

考古学入門⑨

「近世の考古学」

東京都教育庁埋蔵文化財係学芸員

1月18日(日)

美の暦―睦月―

「漆芸にみる吉祥文様」

平常展室主任研究員 竹内奈美子

平成館大講堂にて各回とも13時30分～15時(13時開場)

＊聴講無料(ただし入館料は必要)

定員…各回380名 先着順

公開講座

古文書講座 一通の文書から…

全4回(原則連続聴講申込み)

第1回 11月5日(水)

「平安時代の文書」

―『延喜式』紙背文書から―

第2回 11月19日(水)

「鎌倉時代の文書―藤原定家申文―」

展示課長 島谷弘幸

第3回 12月3日(水)

「室町時代の文書」

―室町幕府の出した文書―

教育講座室研究員 高梨真行

第4回 12月17日(水)

「安土桃山時代の文書」

―書状の封を中心に―

保存修復室長 高橋裕次

資料館2階セミナー室にて

各回とも14時～15時

定員…40名

参加費…無料

【申込方法】

官製往復はがきの「往信用裏面」に

郵便番号・住所・名前・電話番号・

年齢・講座名を、「返信用表面」に郵

便番号・住所・名前を明記してお申

し込みください

＊一枚の往復はがきで、一名のみ申

し込みできます

＊応募多数の場合は、抽選のうえ受講券(一枚で二名受講可)を送ります

【申込先】

〒一〇一八七二二

台東区上野公園十三十九

東京国立博物館教育講座室

「公開講座係」

【申込締切】

10月24日(金)必着

特別展「国宝 大徳寺聚光院の襖絵 関連事業」

■記念講演会

11月22日(土)

13時30分～15時 平成館大講堂

「聚光院と狩野永徳」

教育講座室長 田沢裕賀

＊聴講無料(ただし、入館料は必要)

定員…380名 先着順、定員になり次第締め切り

【申込方法】

はがきまたはFAXで、郵便番号・

住所・名前・電話番号・イベント名

(記念講演会)を明記の上、下記事務

局までお申し込みください。

■三千家による茶会

11月7日(金) 裏千家

11月14日(金) 表千家

11月20日(木) 武者小路千家

■千住真理子&ベルリン室内管弦楽団コンサート

11月3日(月)・祝

15時～17時の2回公演 平成館大講堂

料金…全席3500円(コンサートチケット購入の方は、特別展「国宝大徳寺聚光院の襖絵」を鑑いただけです)

定員…各回380名

先着順、全席指定

【申込方法】

はがきまたはFAXで、郵便番号・

住所・名前・電話番号・イベント名

(千住真理子&ベルリン室内管弦楽団コンサート)・希望時間(15時～か17時)を明記の上、左記事務局までお

申し込み下さい。チケット料金の振込

口座をお知らせいたしますので、指定

の期日までにご入金ください。ご入金

確認後、チケットを郵送いたします。

【申込先】(記念講演会、コンサートとも)

〒一〇一八〇六六

日本経済新聞社 文化事業部

「聚光院展」イベント事務局

FAX 03-5255-2861

江戸開府四〇〇年記念特別展 「伊能忠敬と日本図」関連事業

■記念講演会

11月15日(土)

13時30分～15時(13時開場) 平成館大講堂
「地図文化史上の伊能図」

大阪大学名誉教授 海野一隆

【申込方法】

官製往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・名前・電話番号・年齢を、「返信用表面」に郵便番号・住所・名前を明記してお申し込みください

※一枚の往復はがきで、一名のみ申し込みできます

※応募多数の場合は、抽選のうえ受講券(一枚で一名受講可)を送ります

聴講無料(ただし平常展観覧料が必要) 小・中学生、高校生、65歳以上の方は除く

【申込先】
〒二〇〇八七二二
台東区上野公園三十九
東京国立博物館教育講座室
「記念講演会係」

【申込締切日】

10月20日(月) 必着

■秋期講座

11月1日(土)・11月2日(日)

11月1日(土)

13時15分～16時30分 平成館大講堂

「羊皮紙に描かれた航海図」

日本大学文学部教授 大塚英明

「伊能忠敬、問答倫宗として」

今井信名「近世北方図の世界」

文化庁文化財部美術学系課

主任文化財調査官 佐々木利和

11月2日(日)

13時～16時10分 平成館大講堂

「伊能家の歴史と忠敬」

佐原市伊能忠敬記念館学芸員

紺野浩幸

「測量と地図の過去から現在まで」

国土交通省国土地理院測地部長

小牧和雄

定員…380名

参加費…850円

(テキスト代を含む、当日徴収)

【申込方法】

官製往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・名前・電話番号・年齢・希望日、「返信用表面」に郵便番号・住所・名前を明記して下記までお申し込みください

※一枚の往復はがきで、一名のみ申し込み可能

※応募多数の場合は、抽選のうえ受講券(一枚で一名受講可)を送ります

【申込先】

〒二〇〇八七二二

台東区上野公園三十九

東京国立博物館教育講座室

「秋期講座係」

【申込締切日】

9月30日(火) 必着

◆タイトル・講師などは都合により変更されることもあります

◆その他、特別展「煌きのダイヤモンド」ヨーロッパの宝飾400年、特集陳列「東京国立博物館コレクション」の保存と修理 関連の講演会や公開講座が予定されています。各展覧会の紹介ページをご覧ください

◆映画上映 伊能忠敬 子午線の夢

特別展の開催に先立ち、伊能忠敬の半生を描いた映画を上映します。出演 加藤剛、丹波哲郎、賀来千香子、西田ひかる 他

(テレビ未公開。文部科学省選定、国土交通省・厚生労働省推薦)

日時…10月19日(日)

1回目 12時～14時10分

2回目 14時30分～16時40分

会場…平成館 大講堂

参加費無料(ただし入館料は必要です)

定員…380名

【申込方法】

電話またはFAXで、住所、名前、人数、電話番号(FAX番号)、希望の時間(1回目か2回目か)をお知らせください。(定員になり次第締め切り)

【申込先】

東京国立博物館渉外課

TEL 03-3821-9270

(受付月・金、9時30分～17時)

FAX 03-3821-9680

当館生涯学習ボランティアによる ガイドツアーのご案内

博物館と展示品により親しんでいただけるよう、主に初めてご来館された方を対象として、ボランティアによるさまざまなガイドを行っています。開催スケジュールは本誌16ページの展示・催し物カレンダーをご覧ください。

● 樹木ツアー(約30分間)

博物館の敷地内にある樹木、植物をご案内します。

□ 浮世絵版画展示解説

本館1階の浮世絵版画展示室について、展示室の概要説明と主な作品の説明をします。

● 本館ハイライトツアー

広い本館内で「どこへ行けばいいの?」という方におすすめ。本館2階の国宝作品などを中心に見どころを簡単にご紹介します。

● 法隆寺宝物館ガイドツアー

エントランスホールから6つの展示室を順にご案内します。

※第3室「伎楽面」の展示室は公開日が限られています



樹木ツアー ユリノキの下で

9月9日(火)～10月19日(日) 本館特別第3室・特別第4室

文化財の保存と修理にさまざまな角度からアプローチ

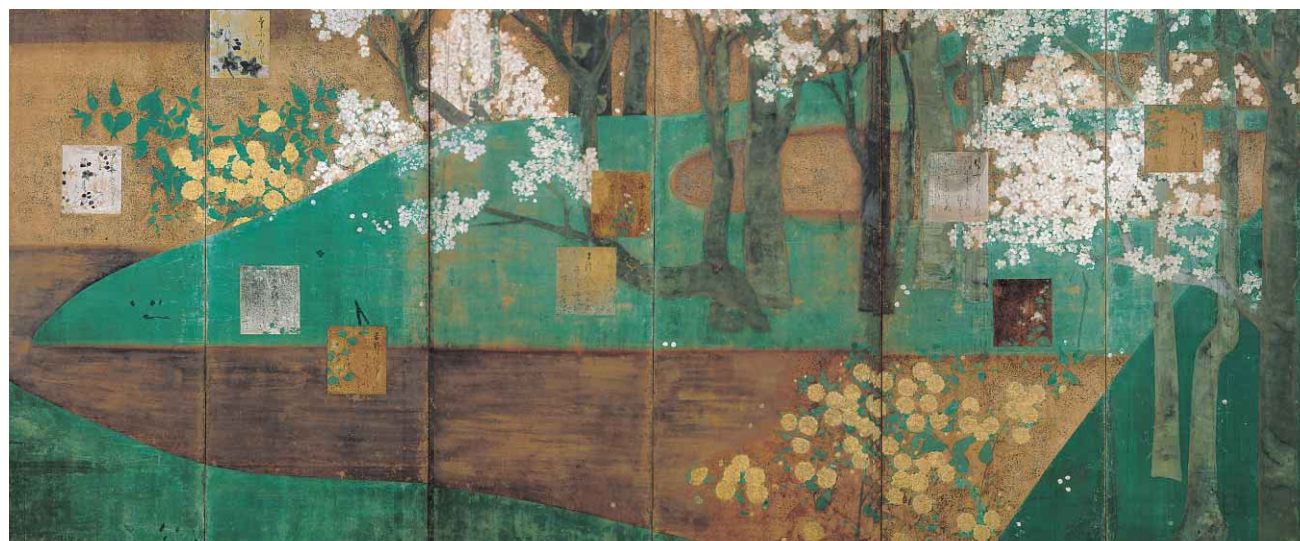
東京国立博物館では、毎年百点を超える所蔵品に本格修理、二百点近くの作品に応急修理を行います。応急修理は、最小限の処置を施すことで早期に傷みの進行を抑えることが目的です。本格修理は、応急修理では回復が困難な作品を、解体や部材の取り替えなどによって安定した状態に戻します。展示や他館への貸与など積極的な公開によって、傷みの進行が早まるのは、ある程度仕方ありません。そのため博物館では、まず展示や保管環境の整備によって作品の保全を図ります。もしも小さな傷みが発見されたときには、応急修理でこれを抑える努力をします。しかし、すでに応急修理の限度を超え、傷みが極限に達したものは本格修理に頼らなければなりません。本格修理を必要とする作品の数は少なくなく、毎年計画的な修理を行う必要があります。

この特集陳列では、平成十四年度に行った修理作品の中から三十四点余

りを選び、無事に修理を終えた姿をご披露します。俵屋宗達筆と伝えられる六曲一双の桜山吹図屏風、重要文化財 十二神将立像(日神および戌神)、桃山時代の辻が花染胴服、残りのよい古墳時代の馬具、壺鏡など、それらが甦った姿を間近にご覧いただきたいと思います。同時に、修理前の傷んだ状態、修理計画の検討あるいは修理作業の経過などについて、パネルやギャラリートークによって分かりやすく解説し、また各種講座や講演会によって保存の世界を詳しく紹介する予定です。(神庭信幸)



胴服
水浅葱緑緯地鳥模様三つ葉葵紋付
桃山時代・十七世紀



桜山吹図屏風(右隻) 俵屋宗達筆 江戸時代・17世紀 田沢房太郎氏寄贈

関連事業

■ 記念座談会「伝統技術と科学」(仮題)

9月13日(土) 13時30分～15時 平成館大講堂

保存修復課長 神庭信幸 ほかに2名程度

定員380名 先着順 参加無料 ただし入館料は必要

■ 小・中学生のための講座「ようこそ！保存と修理の現場へ」

9月15日(月・祝)、23日(火・祝)、10月13日(月・祝)

各回とも13時30分～14時30分 平成館大講堂

＊展示室や収蔵庫の環境整備、修理の具体例、館内での鑑賞マナーなど、文化財の保存と修理についてわかりやすく解説します
対象：小学校高学年～中学生(一般の方も聴講できます)

定員：各回380名 先着順 参加無料

■ 公開講座「保存と修理『洛中洛外図巻』を見る」

保存修復室主任研究員 玉蟲玲子

9月20日(土)、10月11日(土)

各回とも10時30分～12時 平成館1階小講堂

＊「洛中洛外図巻」を題材に、その見所を解説するとともに、どのような修理を行ったのかをスライドなどで解説します。さらに、巻子の取り扱いを体験しその鑑賞法を学んでください
定員各回20名 事前申込制 参加無料

【公開講座申込方法】

官製往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・名前・電話番号・年齢・希望日「返信用表面」に郵便番号・住所・名前を明記してお申し込みください

＊1枚の往復はがきで、1名のみ申し込みできます

＊応募多数の場合は、抽選のうえ受講券(1枚で1人受講可)を送ります

【申込先】

〒110-8712 台東区上野公園13-9

東京国立博物館教育講座室

【申込締切日】

第1回 9月10日(水) 必着、第2回 10月1日(水) 必着

■琳派の秋草■

秋草の表現―儼・光琳・琳派―

小袖 白綾地秋草模様

9月2日(火)～10月26日(日)

本館第2室

夏秋草図屏風

10月7日(火)～11月3日(月・祝)

本館第18室

日本で最初に秋の七草を詠ったのは山上憶良。以来、日本人は春の花だけではなく、年の終わりに向かう侘しさの中で人々の心をなぐさめる日本の秋草をもいつくしみました。江戸時代、俵屋工房が屏風や絵巻に



◎夏秋草図屏風
酒井抱一筆 江戸時代・19世紀
風に吹かれる秋草と蒿の紅葉



◎小袖 白綾地秋草模様
尾形光琳筆 江戸時代・18世紀
菊、萩、桔梗、薄などを伸びやかに記している

描いた秋草図は、秋風を感じさせるような叙情的な空間の広がり表現しました。俵屋宗達風を継承した光琳は、冬木家の妻のために小袖に秋草図を描いています。小袖を縦長の画面に見立てて描いた光琳の冒険には、彼の優れた構図感覚を窺わせ

ます。光琳は、白地に寒色で描かれた秋草模様をまとう姿に、秋野の風の中にたえずむ女性を思い描いたのでないでしょうか。今秋は、尾形光琳に私淑した酒井抱一筆・夏秋草図屏風も本館に登場します。

(小山弓政集)

■江戸開府四〇〇年記念■

江戸の四季・江戸の叙情を楽しむ

「広重の江戸名所」

9月9日(火)～10月5日(日)

本館第18室

「東海道五拾三次」や「木曾海道六拾九次」のシリーズで知られ、旅の画家として知られる歌川広重(一七九七～一八五八)ですが、自身の生まれ育った江戸の名所を描くことも、広重の終生のテーマでした。今回の特集陳列では、広重初の本格的風景画シリーズといわれる川口屋正蔵版の「二幽斎がき東都名所から、晩年の「名所江戸百景」までの広重の代表的名所絵シリーズに、江戸名所を描い

た団扇絵と三代歌川豊国が描いた広重の肖像画を加えた五十点を展示いたします。

雪月花に代表される日本人が好んだ季節感、俳諧に通じる簡潔で叙情性に富んだおだやかな描写、これが江戸幕府動乱の時期に描かれていたことを思うと不思議な気がしてなりません。

(田沢裕賢)

■江戸開府四〇〇年記念■

ミニチュアの世界

特殊陳列シリーズ「幕府と町人」

「江戸の雛形」

9月23日(火・祝)～11月3日(月・祝)

本館第19室

江戸時代には、雛形と通称された木版によるデザイン・ブックが多数出版されました。意匠見本を注文者に示すためのもので、その代表がきものの雛形です。華やかな衣装が流行するきっかけになりました。ほかにも実物をかたどって小さく表現した模型がさまざまに作られ、こうしたミニチュア(雛形は建築技術の進歩にも大きな役割を果たしました。室町時代に盛んだった犬追物の様子を写した武田流犬追物雛形など、多彩で楽しい雛形の世界をご覧いただきます。

(高橋裕次)



武田流犬追物雛形 江戸時代・19世紀
人も犬も真剣な様子が伝わる



名所江戸百景 両国花火
歌川広重筆 江戸時代・安政五年(一八五五)
今に伝わる江戸の夏の風物詩

■工芸
上野の山の博覧会
特集陳列

「第二回内国勸業博覧会——工芸——」

9月23日(火)～12月14日(日) 本館第20室

今年の二月から三月にかけて本館第17室で「第二回内国勸業博覧会——工芸——」を開催いたしました。今回は本館第20室におきまして、明治十四年(一八八二)に、やはり上野公園を会場として開催された第二回内国勸業博覧会の工芸を特集してご覧いただきます。

明治十一年に建設のはじまったコンドルの設計による博物館新館(旧本館)が竣工したのが、明治十四年でした。同年に開催の第二回内国勸業博覧会では、この新館の一階を美術館として使用しています。その意味でも当館とゆかりの深いこの博覧会の作品には、近年重要文化財に指定された初代宮川香山の作品を筆頭に興味深い作品がいくつもあります。それらの中から明治の息吹を鑑賞いただければと思います。(伊藤嘉章)



●絹軸蟹貼付台付録
初代宮川香山作 明治14年(1881)頃
初代宮川香山の初期の代表作。リアルな蟹の造形に注目!!

■国宝室

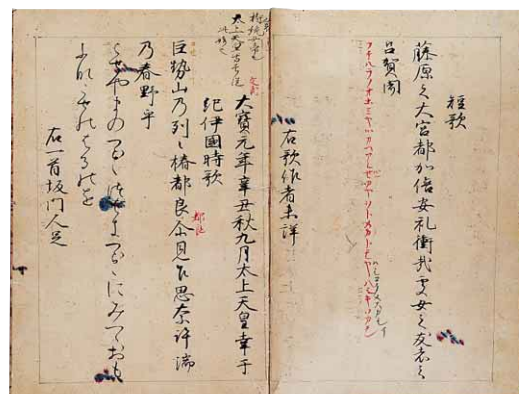
平安の能書と美しい料紙

国宝 元暦校本万葉集

9月17日(水)～10月26日(日) 本館第12室

『万葉集』を冊子本に書写したもので、平安時代特有の藍と紫の飛び雲を漉きこんだ鳥の子に薄墨の野をほどこした料紙を用いています。もとは、本紙の見開き中央の折り目の背の部分を糊で貼りあわせる粘葉装でしたが、伝来の途中に分冊したり、剥離したため、現在は元の装丁の上から糸で綴じています。各巻は寄り合い書きになっていますが、このう

ち、巻第一が「粘葉本和漢朗詠集」と同筆であることなどから、十一世紀末に遡る遺品と推定されています。現在、当館には古河家旧蔵本十四冊と高松宮家旧蔵本六冊の計二十冊が零本(不完全な形で)として伝存しています。桂宮本・藍紙本・金沢本・天治本とともに、平安時代に書写された五大万葉集と呼ばれています。その筆跡とともに最も多くの量を伝存する点でも重要視されています。その名前は校合された年号にちなんだものです。(島公弘幸)



●元暦校本万葉集 平安時代・11世紀
能書の寄り合い書きになる美麗な万葉集

■東洋館

『小山林堂書画文房図録』から

特集陳列

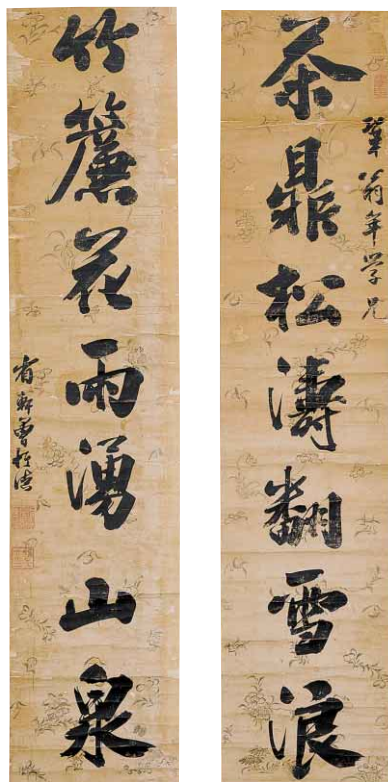
「市河米庵旧蔵の中国書画」

9月2日(火)～10月5日(日)

東洋館第8室

幕末の三筆の一人として知られる市河米庵(二七九～一八五八)は、中国書画の収集にも力を注ぎ、その収集品は一千余種に及んだといわれます。嘉永元年(一八四八)、米庵は収集品の中から優品を選び『小山林堂書画文房図録』十巻を上梓しました。この本から、米庵の収集品は、当時の一個人の収蔵としては、質量ともに群を抜いた内容であったことが知られます。しかし米庵の没後、その

収集品は散逸してしまいました。後に実子の三兼氏が鋭意収集し、その一部が帝室博物館(東京国立博物館の前身)に寄贈されました。今回は寄贈品を中心に、『小山林堂書画文房図



行書七言聯 曾恒德筆 清時代・18世紀
『滋蕙堂帖』の編者として知られる

録所載の中国書画を再構成し、米庵コレクションの一斑をご紹介します。(富田 淳)

■法隆寺宝物館■

太子の一生を描く最古の絵伝
国宝 聖徳太子絵伝

9月30日(火)・10月26日(日) 法隆寺宝物館 第6室

聖徳太子は、十七歳の憲法や冠位十二階の制定をしたこと、四天王寺などの建立が知られていますが、そのほか十一歳で童子三十六人の言葉を書き取り聞き取る、二十七歳のとき黒駒にのって東国へ遊ぶなどの神秘的な奇談なども多く言い伝えられています。そうした太子の生涯の事跡を絵図としたものが太子絵伝です。太子を讃仰し、聖者として尊ぶ太子信仰は鎌倉時代に隆盛して、多くの太子絵伝が作られました。本作はその最古のもので、延久元年(一〇六九、摂津国(大阪)の絵師 秦致貞に

よって描かれました。もとは法隆寺東院の客殿を飾っていた障子絵で、十面からなっています。規模が最も大きく、絵も優れており、初期やまと絵の代表作に上げられます。

(原田一敏)



●聖徳太子絵伝 秦致貞筆 平安時代・延久元年(1069) 太子11歳、36人の童子と園で遊ぶシーン。同時に発せられる童子たちの言葉をすべて聞き取ったという

■東洋館■
恒例 秋の館蔵名品選
特集陳列

「中国書画精華展」

10月7日(火)・11月30日(日)
東洋館第8室

十月・十一月には、館蔵品やご寄託品の中から、優品を選び、展示します。湖南省の洞庭湖の南、景勝の地として名高い瀟湘の風景を描いた国宝の瀟湘臥遊図巻は、長らく北宋末の文人画家李公麟の作として伝来した名品です。巻後の跋文から

作者が李公麟と同郷の李氏と判明する本巻は、清朝の乾隆皇帝が愛蔵した四名巻の一つとしても知られています。この他、●李迪筆紅白芙蓉図 ●梁楷筆雪景山水図 ●梁楷筆李日吟行図 ●文伯仁筆四万山水図、●碣石調幽蘭米芾筆行書三帖巻、董其昌筆行草書羅漢贊等書巻など、伝世書画の醍醐味を心行くまで鑑賞ください。絵画は陳列替えがあり、後期は11月5日(水)からとなります。

(富田 淳)



●瀟湘臥遊図巻 李氏筆 南宋時代・12世紀
墨の濃淡による光の表現に注目

はくふかん散歩 3



林の中でひっそりと *この秋の庭園公開は10月28日～11月24日

有馬家の墓石

東京国立博物館

庭園 六窓庵北側

本館北側にある庭園がみなさまの散策コースとして楽しんでいただけるよう、年一回、春と秋に公開されることになりました。まだ荒れ気味の庭園ですが、季節のうつろいだけでは十分に堪能していただけるでしょう。その庭園の散策路が応挙館の前で鍵の手にまがるあたり、ちょうど茶室六窓庵の裏手に大楠がそびえているところですが、その根方の茂みをよくみますと博物館の庭園には不似合いな石碑群にであいま

す。実にひっそりとしているので何年も勤務している職員でさえ知らないものがあります。十基ほどの石碑がたっています。これはお墓なのです。どうして博物館の構内にお墓があるのでしょうか。

博物館の敷地はもと寛永寺の寺域でした。六窓庵の北側はもともと寛永寺の面影を残しているところ。上野公園を管理していた博物館は明治二十年代には寛永寺などの墓域の整理を終えるのですが、なぜ構内のお墓を残したのかは謎のままです。

ちなみにこのお墓は越前丸岡藩の有馬菩提以下の代々夫人、家臣のもので、そして今は列品(博物館の所蔵品)として登録されています。もちろんお墓ではありません。

(上野仁蔵)

平常展「日本美術の流れ」 縄文から近代まで

時代別展示にリニューアルされた本館2階「日本美術の流れ」。
新しい平常展の鑑賞のポイントを、平常展室長がお話します。



講師 伊藤 嘉章
東京国立博物館
平常展室長

今回は7月1日に時代別展示にリニューアルされた本館2階「日本美術の流れ」をご案内します。

第11室 飛鳥・奈良・平安

最初は日本美術史の導入として、縄文・弥生・古墳というそれぞれの時代を代表する火葬土器(前二〇〇〇年～二〇〇〇年)、銅鐸(二～三世紀)、人物埴輪(六世紀)を見ていただきますよう。



「日本美術の流れ」展示室入り口

導入部を経て最初の部屋が、「飛鳥・奈良・平安」です。六世紀 朝鮮半島から伝わった仏教は、日本の文化に大きな影響を及ぼし、仏教に関わる多くの美術品が作られました。ここでは仏像、仏画、法具、古写経など初期の仏教美術を中心に展示します。ところで、部屋を見渡すと、特別なバックパネルをつけて展示している作品があることに気付いていただけたと思います。左側の壁面には奈良・興福寺の鎮壇具(9月15日ま



バックパネルのある作品が各部屋の見どころ
(写真は7月の展示風景から、興福寺金銅鎮壇具)

で、右側は十六羅漢像(9月15日まで)です。鎮壇具は奈良時代の仏教工芸の精髓といえる作品「十六羅漢像」は、美しい彩色と花鳥文が王朝貴族の感性を伝える平安時代仏画の傑作です。このように各部屋のバックパネルの作品をたどっていくと時代ごとの重要な作品を押さえることができます。

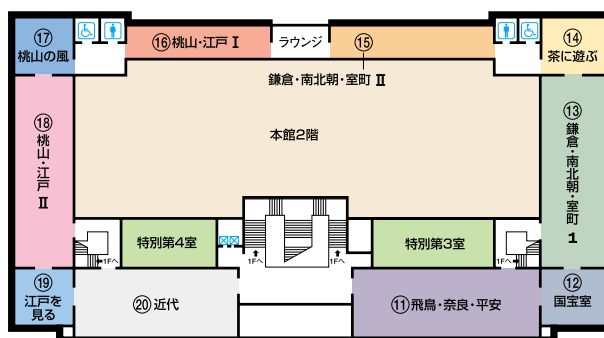
第12室 国宝室

次は国宝の特別鑑賞室です。ゆったりとした空間でじっくりと名品を見



国宝室では、ソファに座ってゆったり鑑賞
(写真は7月の展示風景)

ていたため部屋の。室町時代までの絵画と書跡の国宝作品から一点を展示します。



さて、ここで東京国立博物館2階全体の見取り図を見てみましょう。大きな長い部屋が六つ、角には小さい部屋が四つありますね。大きな部屋は、「飛鳥・奈良・平安」「鎌倉・南北朝・室町」「桃山・江戸」「近代」と日本美術の流れを追う部屋です。ただし、鎌倉・南北朝・室町と「桃山・江戸」に関してはそれぞれIとIIがあります。一方はより大きく全体の流れをつかむための部屋、もう一方はテーマを設けて時代の特徴を示す部屋です。角の小部屋は、日本美術の特徴を鮮明に印象づけるため、ある

第13室 鎌倉・南北朝・室町1

いは名品をクローズアップするため、新聞や雑誌でいえる「コラム」のような役目を果たします。

公家にかわって武士が政権を握ると、美術の面でも平安時代までの優美で繊細な作風に加え、豪放で力強い表現が生まれます。また、鎌倉時代に生まれた新仏教や室町時代に盛んになった茶道・華道・能・狂言・連歌などが美術の重要なファクターとなりました。こうした時代の流れをうけて、武器や新仏教に関わる作品、禅林に関わる水墨画や墨跡、さらに公家の文化である古筆や和歌懷紙なども展示します。鳥獣人物戯画(9月15日まで)のような楽しい作品も登場します。



●鳥獣人物戯画巻 丁巻(部分) 鎌倉時代・13世紀 高山寺蔵
(第13室 9月15日まで)

第14室 茶に遊ぶ



白壁の間の細い道を通り抜けて、茶の湯の美術の展示室へ

13室の最後に露地のような空間を通りぬけます。ここで少し気分を変えて、茶の湯の世界に入りましょう。正面には簡単なつくりですが床をしつらえました。利休の書状が飾られていますね(10月5日まで)。今回は千利休ゆかりの作品を中心に、利休から古田織部に宛てられた書状、利休の所持していた水指、柴庵などを展示しています。今後は、ひとりの茶人に焦点をあてたり、懷石の道具を集めたりと、時代にとらわれず、茶の湯の美を展観します。

第15室 鎌倉・南北朝・室町 2

ここでは中世の工芸品を中心に「祈る(9月15日まで)」、飲食器(9月17日~12月7日)などのテーマを設けて展示しています。「祈る」では、金銅五種鈴などの密教法具に込められた祈りの気持ち、思いの強さを感じ取っていただけるでしょう。

15室と16室の間は博物館の庭園の緑が望めるラウンジです。小堀遠州

ゆかりの転合庵や金井森宗和の六窓庵などの茶室も見ることが出来ます。

第16室 桃山・江戸 1

桃山時代は、乱世を勝ち抜いた武將や明との貿易で富を築いた町衆の自由でおおらかな気分を反映して大胆なデザインを生み出しました。江戸ではこうした感性をひきつぎながらより洗練されていきます。また、美術の作り手、受け手が一挙に拡大された時代でもあります。華やかでわれわれにとっても親しみやすいのがこの時代の美術の特徴でしょう。今回は「装」というテーマで、紀



櫛、弁、簪、宮迫、紙入れ 江戸時代・19世紀 お洒落に欠かせない小物たち(第16室 9月21日まで)

州徳川家の婚礼調度などを展示しています(9月21日まで)。

ここで、一つの展示ケースに注目してみましよう。美人画と団扇、櫛



鏡を見る美人図 勝川春曉筆 江戸時代・18世紀 (第16室 9月21日まで)

など女性のおしゃれに用いられたものがいっしょに展示されています。絵画とそこに描かれたもの、関連する工芸作品などをあわせて見ることで、時代の空気を人々の営みを感じていただけるでしょう。



絵画と描かれた工芸作品をあわせた展示 (写真は8月12日までの展示風景、絵画は13日からは「鏡を見る美人図」に展示替えされました)

第17室 桃山の風

17室は日本美術史のなかでも特筆すべき革新と創造の時代、桃山に焦点をあて、テーマ展示や松林図屏風(9月23日~11月3日)など、とっておきの名品を鑑賞するための部屋として使います。

第18室 桃山・江戸 2

18室は再び大きな流れをたどる部屋になります。文化の爛熟期を迎え、さまざまな様相を見せる近世の美術を、書画を中心にご覧いただきます。右側の長い壁面では、北斎の富嶽三十六景(9月7日まで)や広重の江

戸名所(9月9日~10月5日)などの特集展示も行います。

第19室 江戸を見る

江戸開府四〇〇年を記念して、「幕府と町人」と題した特集陳列シリーズをご覧いただいています。ここでは文献資料や版本などを中心に、料理納涼、雛形、医学などさまざまな側面から江戸の文化を見ていきます。

第20室 近代

最後の部屋では、明治、大正、昭和初期戦前までの作品を展示しています。最初に目に飛び込んでくるのは、高村光雲の「老猿」です。近代彫刻の代表作として近年重要文化財に指定されたものです。鍋木清方の「黒髪」や岸田劉生の「麗子像」といった皆さんがよくご存じの名作にも出会えます。技巧をこらした明治の工芸作品など興味深いものです。



華やかな色絵の壺と力強い高村光雲の「老猿」、展示室奥には「麗子像」(写真は7月の展示風景)

日本が大きく変わったまさに激動の時代のなかで、美術ももがき苦しみながらなにか新しい物をうみだそうとしている、そんな葛藤とエネルギーが感じられる部屋です。



黒髪 鍋木清方筆 大正6年(1917) 個人蔵(第20室 9月21日まで)

いかがでしたか？

従来の分野別展示から時代別展示にリニューアルして私が感じたのは、「時代が物を作る」ということです。同じ時代に作られたものは、同じ匂い、同じ音がします。同時代のものを並べて見ることで、その時代を感じることが出来るはずです。ぜひ、「時代の気配」を味わう美のタイムスリップを楽しんでください。

(構成 小林 牧)

*「日本美術の流れ」では音声ガイド(日・英・一方国語のサービスを行っています。一回一〇〇円です。

◆東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では、賛助会員制度を設け、当館を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究、平常展・施設整備等の充実に充てております。どうか賛助会の趣旨をご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効
賛助会員には、特別会員と維持会員との二種類があります。

年会費	
特別会員	100万円以上
維持会員	法人 20万円 個人 5万円
特典	
●特別展の特別内覧会にご招待	
●展示会の招待券贈呈	
●国立博物館ニュースの送付	
*賛助会員の申し込みは随時受け付けています。	
*ご希望の方には資料および東京国立博物館賛助会員(TNM Members)入会申込書をお送りします。	
*お問い合わせ	
東京国立博物館渉外課渉外開発係	
Tel 03-3822-1111(代)	

東京国立博物館賛助会員 平成15年7月1日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
東京電力株式会社 様
株式会社コア 様
安田生命保険相互会社 様
株式会社精養軒 様
毎日新聞社 様
日本経済新聞社 様
大日本印刷株式会社 様
株式会社大林組 東京本社 様
朝日新聞社 様
株式会社ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社ミロク情報サービス 様
株式会社りそな銀行 様
東京ガス株式会社 様
TBS 様
LVMHモエヘネシー・ルイヴィトン・ジャパン株式会社 様
NHK 様
昭和鉄工株式会社 東京支社 様
株式会社鴻池組東京本店 様
株式会社東京新聞・中日新聞社 様
株式会社電通 様
読売新聞東京本社 様

維持会員

三菱電機ビルテクノサービス株式会社 様
早乙女 節子 様
株式会社三冷社 様
東日本電信電話株式会社 様
宇津野 和俊 様
伊藤 信彦 様
小金井造園株式会社 様
株式会社クマヒラ 様
ソニー株式会社 様
株式会社NTTドコモ 様
斎藤 京子 様
井上 萬里子 様
森本電気興業株式会社 様
田添 博 様
株式会社鶴屋吉信 様
株式会社東京美術 様
篠内 匡人 様
服部 禮次郎 様
岩沢 重美 様
高田 朝子 様
齋藤 京子 様
齋藤 邦裕 様
日本通運株式会社美術品事業部 様
(順不同)

◆コンサート開催のお知らせ

懐かしい唱歌と世界的ピアニストの演奏をお楽しみいただけます。

岡田博美ピアノコンサート

日時 9月22日(月) 18時30分開場 19時開演
場所 東京国立博物館 平成館ラウンジ
演奏 岡田博美
主催 東京国立博物館、サロン・ド・ソネット
演奏曲 ベートーヴェン ソナタOp.27 No.2 「月光の曲」
ショパン エチュードOp.10 No.3 「別れの曲」
リスト ハンガリー狂詩曲第2番 他

料金 5000円(特別展入場券付) 全席自由

*岡田博美 富山県出身。桐朋学園大学在学中、第48回日本音楽コンクールで第1位優勝。桐朋学園大学を首席で卒業後、1982年第28回マリア・カナルス国際コンクールで第1位など数々のコンクールで優勝し注目を集める。1984年よりロンドン在住。

◆チケットのお求め方法◆

当館正門観覧券売り場でチケット販売
開館日の9時30分～16時30分。ただし特別展「アレクサンドロス大王と東西文明の交流展」開催中(8月5日～10月5日)の金曜日は19時30分まで

●電話による予約販売も受け付けています。

申込先 TEL 03-3821-9270(東京国立博物館渉外課)

受付 月曜～金曜 9時30分～17時

(土日祝は受付していません)

●チケットは当館正門観覧券売り場で代金引換にてお渡しいたします。

引換時間: 開館日の9時30分～16時30分。特別展「アレクサンドロス大王と東西文明の交流展」開催時(8月5日～)の金曜日は19:30まで

日本の歌 音楽お国巡り

日時 10月26日(日) 14時開演
場所 東京国立博物館 平成館ラウンジ
演奏 くあるてーと さくら
(村上初美、吉野真紀子、今福充、斉藤渉、鶴治美)
演奏曲 ソーラン節、花、ていんぐさぬ花、故郷 他
無 料 (ただし入館料は必要です)

*親子で楽しめる唱歌・童謡のコンサートです。日本各地の文化などを紹介するトーク、音楽クイズ・歌遊びのコーナーなどもあります。

問い合わせ TEL 03-3821-9270(東京国立博物館渉外課)

受付 月曜～金曜 9時30分～17時

◆秋の庭園公開

本館北側に広がる庭園を10月28日(火)～11月24日(月・休)に公開します。秋のさわやかな気候のもと、緑のなかの散策をお楽しみください。

庭園には、本館と東洋館の間からお入りいただけます。(天候により、公開を取りやめることもありますので、あらかじめご了承ください)

◆国立博物館巡回展開催 10月4日(土)～11月3日(月・祝) 「国宝 その美とところ」紋別市立博物館 市民ギャラリー

独立行政法人国立博物館では、毎年、全国の博物館・美術館と共同し、国立博物館所蔵品による巡回展を開催しています。今年は、十月から北海道の紋別市立博物館、十二月から沖縄の浦添市美術館という、日本列島の南北での開催を予定しています。

紋別市立博物館では、国宝の刀(名物観世正志)をはじめ、佐藤一斎像(重文)や東海道分間延絵図(重文)などの絵画・絵図類、また茶器・花器類の陶磁器や漆工品、あるいは陣羽織などの染織品、さらに黄金色の大判小判ほか、鎌倉・江戸時代の多彩なジャンルの作品約三十点を選び、展覧します。中世から近世にかけての美術工芸の優品を通じて、日本美術の醍醐味をご堪能ください。

(松本伸之)



◎東海道分間延絵図
江戸時代・19世紀
東海道から富士山を遠望する場面

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会 年会費 1万円 発行日から1年間有効

特 典 東京・京都・奈良国立博物館3館の平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送や、友の会対象のイベント・講演会の開催、当館ガイドブックの進呈などさまざまな特典があります

パスポート 一般 3000円 学生 2000円

発行日から1年間有効

特 典 東京・京都・奈良国立博物館3館の平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては、各1回計6回までご覧いただけます

◆お申し込みは当館の窓口あるいは郵便振替で友の会

加入者名(振替先) 東京国立博物館友の会

口座番号 00160-6-406616

金 額 1万円

*振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレス(メールサービス希望の場合)を楷書でご記入ください

パスポート

加入者名(振替先) 東京国立博物館パスポート

口座番号 00120-3-665737

金 額 一般3000円 学生2000円

*振替用紙には申込区分(一般か学生)・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・学生の場合は学校名および学生証番号を楷書でご記入ください

*振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートチケットが届くまで保管しておいてください

*振替手数料はお客様の負担となります

◆お問い合わせは

東京国立博物館渉外課 渉外開発係

TEL 03-3822-1111 (代)

東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内

本誌の定期郵送をご希望の方は、年間(6冊分)1000円の送料・事務費のご負担でご自宅にお届けします。

◆お申し込みは郵便振替で

加入者名(振替先) 東京国立博物館ニュース

口座番号 00100-2-388101

*振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書でご記入ください

*振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておいてください

*振替手数料は申込者のご負担となります

*次号より送付ご希望の場合、締切は10月10日です

東京国立博物館利用案内

開館時間：9時30分～17時、4月から12月の特別展開催期間中の金曜日は20時まで(入館は閉館の30分前まで)

休 館 日：毎週月曜日(祝日、休日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月1日)。ゴールデンウィークおよび夏休み期間(7月20日～8月31日)は原則として無休

平常展観覧料金

一般420(210)円 大学生130(70)円

* ()内は20名以上の団体料金

*障害者とその介護者1名は無料です。入館の際に障害者手帳などをご提示ください

*満65歳以上、および高校生以下の方の平常展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

★敬老の日(9月15日)は無料観覧日です(平常展のみ)

TOPICS



黒門

*入館は正門からのみです。天候により中止されることもあります。

◆**黒門を開放しています**
当館の正門を入って左手奥、法隆寺宝物館への路の途中にある黒門。鳥取藩主池田家の屋敷から移築されたこの門は重要文化財に指定されています。今年七月の本館リニューアルオープンを機に、土・日・祝日に限り開放、黒門を通ってお帰りの来館の際には、武家屋敷を訪れた気分を味わってください。



山本 勉 当館教育普及室長
*購読のお問い合わせは
当館ミュージアムショップ
(TEL 03-3822-1008)まで

◆『MUSEUM』585号
(8月15日発行予定)の掲載論文
①東京国立博物館蔵・水浅葱線
緯地高模様三葉葵紋付辻が花染
胴服について
長崎巖(長立女子大学教授)
②初期唐織の編年に関する考察
—金春座伝来能装束を中心に—
小山弓弦(当館列品室)
③水海道・無量寺の正安三年銘
聖徳太子像

Who's Who in 東博



個性を活かした
活動がさまざまに
広がります

ボランティア室
三家本めぐみ

昨年九月東博に着任して以来、多くのボランティアの皆さんと出会いました。昨年四月から二年の任期で活躍している生涯学習ボランティアは現在百四十四名。インフォメーションカウンター業務や講演会・列品解説のお手伝い、自主企画のガイドツアーなど幅広く活動していただいています。この他、夏休みの児童・生徒ボランティアや学生教員のボランティアなど短期で活動していただく方々もあり、実に多彩な顔ぶれが館の活動を支えています。ボランティアさんの自主的な企画が増えるにつれ連絡・調整事項も多くなりましたが、幸い皆

さん自身の間で自主的にメーリングリスト、掲示板の利用などを進めていただいています。この夏から考古展示室と法隆寺宝物館のガイドが始まったのに加え、リニューアルした本館2階展示室のご案内を不定期ですが外国語で行っています。自主企画が盛りだくさんな一方、従来のインフォメーション業務や、掲載記事の整理なども続けていただいているのは本当にありがたいことです。職業、年齢など多様なボランティアさんたちとの交流は楽しく、勉強になることも多いです。今後ますます向上心を持っていただければと思います。

2003年9月 東京国立博物館 9月・10月の展示・催し物 2003年10月

1 MON	休館日
2 TUE	列品解説「商周時代の銅鉞」 14:00 東洋館第4室
3 WED	11:30/15:30 14:00 15:00
4 THU	
5 FRI	夜間開館(20:00まで) 11:30/15:30 ※1 ア・カペラで聴く日本の名曲 19:00開演 表慶館
6 SAT	15:00
7 SUN	
8 MON	休館日
9 TUE	東京国立博物館コレクションの保存と修理 広重の江戸名所 列品解説「化粧道具と装身具」 14:00 本館第15室
10 WED	11:30/15:30 14:00 15:00
11 THU	
12 FRI	夜間開館(20:00まで) 11:30/15:30
13 SAT	座談会「伝統技術と科学」(仮題) 13:30 平成館大講堂 15:00
14 SUN	
15 MON	講座「ようこそ!保存と修理の現場へ」 13:30 平成館大講堂 11:00 本館特別第5室
16 TUE	休館日
17 WED	列品解説「環境保全と修理」 14:00 本館特別第3・4室 11:30/15:30 14:00 15:00
18 THU	
19 FRI	夜間開館(20:00まで) 11:30/15:30
20 SAT	15:00
21 SUN	講演会 古代の染織シリーズ⑥「作品について:襦」 13:30 平成館大講堂
22 MON	休館日 ※2 ピアノコンサート 19:00 平成館ラウンジ
23 TUE	講座「ようこそ!保存と修理の現場へ」 13:30 平成館大講堂 特別公開 松林図屏風 11:00 本館特別第5室
24 WED	列品解説「修理で得られる新知見」 14:00 本館特別第3・4室 14:00 15:00
25 THU	
26 FRI	夜間開館(20:00まで)
27 SAT	講演会 初めての東京国立博物館シリーズ「中国考古学入門」 13:30 平成館大講堂 15:00
28 SUN	こどもミュージアム「アレクサンドロス大王の大冒険」最終日
29 MON	休館日
30 TUE	列品解説「作品の科学的調査」 14:00 本館特別第3・4室

- 👤 = ボランティアによる樹木ツアー、場所：前庭内
- 👤 = ボランティアによる本館ハイライトツアー、場所：本館
- 👤 = ボランティアによる浮世絵版画展示解説、場所：本館1階
- 👤 = ボランティアによる法隆寺宝物館ツアー、場所：法隆寺宝物館
- 👤 = こどもミュージアムワークショップ「博物館探検：ギリシャのもようを探そう」

1 WED	14:00 14:00
2 THU	
3 FRI	夜間開館(20:00まで)
4 SAT	講演会「長谷川等伯の一生」 13:30 平成館大講堂 14:00
5 SUN	アレクサンドロス大王と東西文明の交流展最終日
6 MON	休館日
7 TUE	煌きのダイヤモンド 列品解説「染織品修理の一例」 14:00 本館特別第3・4室 ※3 講演会「ヨーロッパのダイヤモンドジュエリーの歴史」 13:30 平成館大講堂
8 WED	11:30/15:30 14:00 14:00
9 THU	13:00/14:30
10 FRI	夜間開館(20:00まで) 11:30/15:30
11 SAT	14:00 13:00/14:30
12 SUN	
13 MON	講座「ようこそ!保存と修理の現場へ」 13:30 平成館大講堂
14 TUE	休館日
15 WED	列品解説「盛装男子埴輪の服装と武器」 14:00 本館特別第3・4室 11:30/15:30 14:00 14:00
16 THU	13:00/14:30
17 FRI	夜間開館(20:00まで) 11:30/15:30
18 SAT	講演会 初めての東京国立博物館シリーズ「中国絵画鑑賞入門」 13:30 平成館大講堂 14:00 13:00/14:30
19 SUN	※4 映画上映「伊能忠敬 子午線の夢」 12:00/14:30 平成館大講堂
20 MON	休館日
21 TUE	列品解説「周文派の山水図」 14:00 本館第13室
22 WED	11:30/15:30 14:00 14:00
23 THU	13:00/14:30
24 FRI	夜間開館(20:00まで) 11:30/15:30
25 SAT	講演会 初めての東京国立博物館シリーズ 考古学入門⑧ 14:00 13:30 平成館大講堂 13:00/14:30
26 SUN	日本の歌コンサート 14:00 平成館ラウンジ
27 MON	休館日
28 TUE	列品解説「法服を着けた地蔵菩薩像」 14:00 本館第8室
29 WED	14:00 14:00
30 THU	※5 セミナー「モード史の中のアンティークジュエリー」 13:30 資料館セミナー室
31 FRI	夜間開館(20:00まで) 「伊能忠敬と日本図」「国宝 大徳寺聚光院の模絵」 12/14まで こどもミュージアム「測量っていいのう〜!」

11/3まで 12/21まで

*上記の予定は予告なく変更になることがあります。当日の予定は、インフォメーションカウンターでご確認ください
※1、2は有料イベントです(本誌14ページをご覧ください)
※3、4、5は事前申込制です(※3、5は本誌4ページを、※4は7ページをご覧ください)
*講演会の開場は、開演の30分前を予定しています

〈京都国立博物館〉10月11日(土)~11月23日(日・祝)
特別展覧会「金色のかざり—金属工芸にみる日本美—」

〈奈良国立博物館〉
9月2日(火)~10月5日(日) 親と子のギャラリー「弥勒如来にささげる~お経のタイムカプセル~」
10月25日(土)~11月10日(月) 特別展覧会「正倉院展」